



Library NEWS

～図書館だより～

令和7年度 晃陽中学校図書館

新年度が始まって一ヶ月。新しい環境には慣れてきましたか？晃陽中図書館は、来館者が徐々に増え、毎日本好きのみなさんが読書したり、勉強したりする姿が見られます。誰でも静かに本を楽しめるように毎日開館していますので、気軽に来館してください。



晃陽中必読図書について



先生方が、中学生に読んでほしい22冊を選びました。どれから読んでもOKです。朝の読書の時間に少しずつ読んでいくのもよいですね。3年間で読破できるよう頑張ってみましょう。

- 1 のび太という生き方（横山泰行） 2 ももこの世界あっちこっちめぐり（さくらももこ）
- 3 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー（プレイディ・みかこ） 4 なぜ僕らは働くのか（池上彰監修）
- 5 こども学問のすすめ（齋藤孝） 6 ロウソクの科学（ファラデー） 7 夢をかなえるサッカーノート（中村俊輔）
- 8 一瞬の風になれ（佐藤多佳子） 9 カラフル（森絵都）
- 10 気まぐれロボット（星新一） 11 燃えよ剣 上・下（司馬遼太郎）
- 12 蜘蛛の糸・杜子春（芥川龍之介） 13 とりかえばや物語（日本の古典）
- 14 容疑者Xの献身（東野圭吾） 15 夜のピクニック（恩田陸） 16 アイスプラネット（椎名誠）
- 17 天国からはじまる物語（ガブリエル・セヴィン） 18 はてしない物語（ミヒャエル・エンデ）
- 19 星の王子さま（サン＝テグジュペリ） 20 赤毛のアン（モンゴメリ）
- 21 ブッタとシッタカブッタ（小泉吉宏） 22 頭のうちどころが悪かった熊の話（安東みきえ）

図書学芸委員会活動報告



カウンター当番は毎日こやかに元気に貸出しをしています。

今月の「詩」は、毎月季節に合った一編を選んでいきます。



5月のおすすめの本は、体育祭関連の本です。階段踊り場に貼ってあります。見てください。



朝の読書の時間に、3年生教室で読み聞かせを行いました。みんな真剣に静かに聞いてくれました。これからも本の紹介なども計画しています。





新着図書紹介



『楽しく学べるはにわ図鑑』

かみゆ歴史編集部：編 朝日新聞出版



3～6世紀、権力者が自分の力をアピールするために、多くの古墳を作りました。そこから発掘されたものに、はにわがあります。よく知られているのは人物のはにわでしょう。持っているものや、服装から、どんな職業だったかなどもわかります。

また各時代で技術がどんどん進化していったようです。はにわを見れば、その時代の生活がよくわかります。

『ニッポンの総理大臣』

ニッポンの総理大臣編集部：編 学研プラス



日本の初代総理大臣から、101代総理大臣まで、人物のエピソードや政策を分かりやすく解説してあります。みなさんは何人覚えていますか？マンガもあり、楽しく読んで勉強になる1冊です。社会の時事問題対策にも使えます。

『いまこそ読みたい教科書の泣ける名作』

Gakken



小中学校の国語の教科書に長期間にわたって掲載されていた物語や、現在も掲載されている物語の短編集です。『スーホの白い馬』『ないた赤鬼』『走れメロス』など、感動の名作ばかりです。

朝の読書にもおススメです。

『ゆる鉄絶景 100』

中井精也：写真 小学館



鉄道写真を独自の視点で撮影している作者が、100の絶景を選んだ写真集です。素晴らしい日本の四季と風景に癒されます。

栃木県は東武鬼怒川線と真輝鐵道が紹介されています。

『ルールびっくり事典 まもれる？まもれない？』

こざきゆう：著 ポプラ社



シンガポールでは、ガムに関する厳しいルールがあります。ガムのポイ捨てが多く街が汚れ景観が悪くなったことから20年以上前にできました。アメリカ・ユタ州のある街では図書館で借りた本を返さないと罰金があるそうです。またコネチカット州には、自転車では時速110キロ以上で走ってはならないという実現不可能なものに対するルールがあります。世界中にあるびっくりなルール集です。

『青い壺』

有吉佐和子：著 文藝春秋



1977年に初版が発行されました。50年近くたった今、再び話題になっています。

ある陶芸家が作った一つの青い壺が、様々な人の手に渡ります。それぞれ悩みをもつ人々と壺の関わりが、令和の今の人にも共感できること

が多いからかもしれません。